

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 11 日作成)

小委員会名	地域文脈デザイン小委員会	主 査 名：木多道宏 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名：出口 敦
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文脈形成・計画史小委員会（2009～2012 年度）による成果を展開させて、「地域文脈」を「変化する地域環境の過去を意味のある事物・出来事の連鎖として解釈することによって生まれてくる創造の方法」を、都市計画の基礎的な方法として提起する。 ・集中的な議論と大会シンポジウムにより、理論の枠組みを再構築し、最新の成果の執筆と出版を行う。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有 (0 名)	
	主査：木多道宏 (大阪大学) 幹事：土田 寛 (東京電機大学)、中島直人 (慶応大学) 委員：青井哲人 (明治大学)、岡絵理子 (関西大学)、黒田泰介 (関東学院大学)、 篠沢健太 (工学院大学)、清野 隆 (立教大学)、田中 傑 (東京理科大学)、 中野茂夫 (島根大学)、松山 恵 (明治大学) WG からの参画委員： 阿部大輔 (龍谷大学)、稲地秀介 (摂南大学)、宇杉和夫 (西安交通大学)、 鶴飼 修 (滋賀県立大学)、岡部明子 (千葉大学)、川島智生 (京都華頂大学)、 平田隆行 (和歌山大学)、安田 孝 (摂南大学)、山口秀文 (神戸大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	出版 WG： 書籍の構成・内容の検討と集約、分担とスケジュールの管理	
2013 年度予算	220,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://www.area-context.com/

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1. パネルディスカッション 成長時代のコンテクスチャリズムから 人口減少・大災害時代の地域文脈論へ
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	

<p>目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小委員会を開催し、長時間にわたる議論を積み上げて、前身の地域文脈形成・計画史小委員会の成果を精査し、近代・前現代に提唱されてきた「コンテクスチャリズム」を越えるための論点や仮説を得ることができた。 2. 上記の論点と仮説を大会研究集会にて提示し、これに対する意見や反響を得ることができた。 3. 以上を、出版物の内容へと反映するべく、構成・内容を再構築することができた。
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. (あえて挙げるなら、) 多くの委員が多忙であり、一部の委員に議論の共有が難しくなっているが、前小委員会からの連続研究会で相互の研究ビジョンやテーマは理解しているので大きな問題ではない。

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。